

取扱い方法

UUM-201-B2

UHF混合器

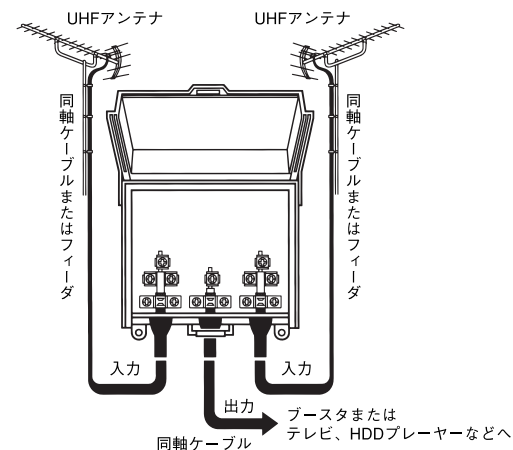
使用帯域 (470~770MHz)

※このたびはDXアンテナ製品をお買上げいただき、ありがとうございます。製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保存してください。

■製品の特長

- 2つのUHFアンテナの電波を混合します。
- UHF入力端子は、同軸ケーブル、UHFフィーダのどちらでも接続できる切断切換方式ですのでアンテナを選びません。(ケーブルを直付けできます。)
- 耐候性に富む樹脂ケースを採用していますので、屋外でも安心して使用できます。

■各部の名称と使用例



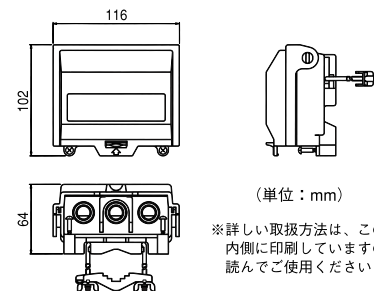
■付属品

- 防水キャップ……………3個

■使用上のご注意

- この製品の入力端子と出力端子間は通電仕様とはなっていません。
- この混合器内の電子部品は調整済みですので、絶対に手を触れないでください。
- 入力端子と出力端子を間違えないように、接続してください。
- 同軸ケーブルやフィーダは、本体に力が加からないように、少し余裕がある程度でご使用ください。

■外形寸法図



■規格特性

JEITA表示による。

使用放送	使用チャンネル (ch.)	インピーダンス (Ω)		通過帯域損失 (dB以下)	阻止帯域減衰量 (dB以上)	VSWR (以下)
		入力	出力			
UHF	13~62	75/300 (200)	75	6.0	20	2.0

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

DXアンテナ株式会社

本社 / 〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL (078) 682-0001 (代)
東京支社 / 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL (03) 3526-6327 (代)
カスタマーセンター TEL (078) 682-0455



T4975584103590



DXアンテナ株式会社

混入防止16番

屋外用

【使用できる放送】

UHF

UUM-201-B2

同軸ケーブル用/フィーダ選択タイプ

UHF混合器 UHFとUHFの電波を混合します。

DX ANTENNA

カバーの開け方と閉め方

●開け方

図のように人差し指をカバーの下側に添え親指で突起を押すとロックがはずれます。ロックをはずした後は、カバーを持ち上げると開けることができます。

●閉め方

カバーを閉めるときはフタを両手で押え、ロックがかかったことを確かめてください。

※“UUM-201-B2”の末尾“-B2”は包装形態を示しています。製品本体の表示は“UUM-201”です。

品名	UUM-201-B2②
型番	

上記データの作成にあたり、

- ・未管理(古い)データの流用
☐しました ☐していません
- ・内部での文字校正
☐しました ☐していません

担当者

福山

取扱い方法

UUM-201-B2

UHF混合器

■安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	○記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。	
●不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	
●この製品を調理台の付近など高温になる場所で使用しないでください。燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となります。	
●この製品は、非通電形です。電流を通過（同軸ケーブルを通して、この製品の出力側から入力側の前段のブースタに電源を送るなど）させないでください。回路がショートして、火災や感電の原因となります。	
●雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。	

注意

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。けがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となることがあります。	
●この製品に接続する同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となることがあります。	

- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力（トルク）に指示がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



- お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。溶けたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



■お取り扱いの前に

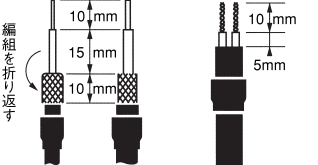
- 結線や取付作業はこの取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 混合器を落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないように注意してください。
- この混合器内の電子部品は調整済みですので、絶対に手を触れないでください。

■同軸ケーブル・フィーダの先端を図のように加工してください。

＜入力側＞

●同軸ケーブルの場合
（3C/4C相当同軸ケーブル）

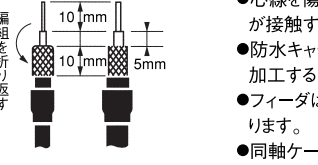
●UHFフィーダの場合
（5C相当同軸ケーブル）



＜出力側＞

●同軸ケーブルの場合
（3C/4C相当同軸ケーブル）

●UHFフィーダの場合
（5C相当同軸ケーブル）



- 心線を傷つけたり、心線が長すぎたり、心線と偏組が接触することのないように注意してください。
- 防水キャップは線の太さに合わせてカットし、先端を加工する前に通しておいてください。
- フィーダは心線をより合わせると取り付けが楽になります。
- 同軸ケーブルはできるだけ5C-2Vをご使用ください。

■先端加工した同軸ケーブル・フィーダを図のように接続してください。

- 同軸ケーブルの接続
- フィーダの接続（入力側のみ）

ドライバーで心線を固定

編組を固定

ドライバーで心線を固定

フィーダを固定

締付トルク 0.4～0.6N・m（心線）
0.25～0.3N・m（編組）

同軸ケーブルをご使用になる場合は、必ずこのリード線を切り取ってください。

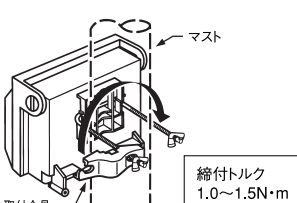
75Ω

300Ω

■取付方法

- 図のようにマストへは取付金具で、柱や板壁は付属の木ネジ2本で取り付けてください。

＜マスト取付の場合＞



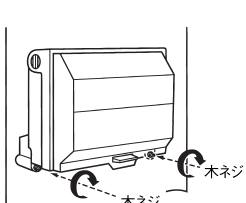
マスト取付金具

マスト

締付トルク 1.0～1.5N・m

●マスト径はφ25mm～φ43mmです。

＜板壁取付の場合＞



木ネジ

木ネジ